

広次 ひろつぐ 忠彦 通信

No. 173

2006年12月5日
日本共産党大分市議団

市民の声、来年度予算に反映を



市民アンケートへのご協力ありがとうございました。
このアンケートをはじめ、みなさんから寄せられたご意見を、10月25日、市議団は、来年度予算を市民の声を反映したものにしよう、市長あてに申し入れました。
申し入れ項目は91項目で、市長が不在のため、副市長に手渡しました。各議員と堤栄三前

県議・党県自治体部長から、正規雇用の実態と雇用対策、環境問題など、みなさんから寄せられた声や調査した内容などを紹介しながら、要望しました。
対応した副市長は、「交付税措置がどうなるか。国保、介護、生活保護などの自然増などへの対応が課題」「申し入れについては検討する」と回答しました。

米軍 日出生台演習 非公開で現地調査

来年2月の演習実施にむけて、11月28日、米軍による現地調査がおこなわれました。現地調査は、米軍の演習のたびにおこなわれてきました。しかし今回は、テロや警備上の理由から調査日程が非公開となりました。住民からは「米軍の存在そのものが危険だということ」などの声があがっています。

今年の演習後の「外出行動」も、米軍から非公開の要請がされていました。情報を公開させ、演習の恒常化を許さないたたかいをひろげましょ

産廃場の建設許さず 水道水源を守れ



護条例などをつくり、市民の水を守ることを申し入れました。

野津原地区今市に、産業廃棄物最終処分場を建設しようとしているとの情報が寄せられました。この地域は大分川ダムのすぐ上流に位置しています。産廃場が建設されると、市民の水がめめに処分場の汚水が流れ込む危険性があります。
党議員団は、①水源地に産廃処分場や汚水を排水する企業や施設を建設しないこと、②水道水源保護

活動トピックス

- 11月7日 大分市多重債務対策協議会・定例学習会に参加。
- 11月17・18日 多重債務問題の全国交流集会に参加。サラ金問題解決の相談とあわせて、生活再建への行政の取り組みなどについて学習しました。
- 11月23日 多重債務対策協議会主催の「多重債務講座」に参加。
- ※ サラ金などの多重債務の相談活動をすすめています。お知り合いで困っておられる方にお知らせください。
- 11月9日 日本共産党大分県委員会・地方議員団で、大分県への来年度予算に対する要望行動に参加。
- 11月11日 医療生協健康フェスタ・平和分科会で、大分県の平和運動について発言。
- 11月25日 産廃問題で市環境部に申し入れ（上述）。